

執 筆 者

- 大熊久貴 奈良県立民俗博物館 主任技師
- 高橋史弥 奈良県立民俗博物館 主任学芸員
- 川邊絢一郎 埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸員
- 鈴木耕太郎 高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 准教授
- 鈴木萌花 駒澤大学大学院 人文科学研究科 博士後期課程
- 平 陽介 牛頭天王信仰研究会 会員
- 中村一輝 牛頭天王信仰研究会 会員
- 西野浩二 牛頭天王信仰研究会 会員
- 室田辰雄 牛頭天王信仰研究会 会員
- 石橋 諒 奈良県立民俗博物館 主任技師

編集後記

奈良県立民俗博物館研究紀要は、今号から一般販売を目指して、初版の印刷数を大幅に増やすことができました。研究紀要は創刊号からインターネットでの公開をしていますが、紙媒体で手に取りたいという需要に応えることができると考えています。今号は、収蔵資料整理の一つの成果として、大熊が当館収蔵の田打ち車から、系統図を作成しました。資料一点一点に付随する情報は僅かながらも、膨大な数を分析することで何が言えるかを示すことができました。高橋は民俗学創出の中心となった折口信夫が、その著作等で言及した「柿本人麻呂」を用語として捉えてみることで、折口の民俗観の追跡を試みました。外部からは、牛頭天王信仰研究会より、大和郡山市矢田町の八坂神社のオンダについてご寄稿をいただきました。現地調査と当館所蔵の映像資料調査から、その実態と牛頭天王信仰との関連性について言及されています。当館との連絡業務の窓口となった埼玉県立歴史と民俗の博物館の川邊学芸員をはじめ、多くの方との研究協力ができつつあります。引き続き、外部の研究者とも協力しつつ、民俗博物館としての研究を深めていきたいと思えます。加えて、石橋は敷設が計画されていた榛原～大宇陀間鉄道について文書資料を元にその計画の変遷を整理しました。今号からは、より研究成果が伝わりやすくなるよう、縦書きにも対応できるようにしました。こうした体裁も一つ一つ改良し、読みやすい研究紀要を作り上げていこうと考えています。

(高橋史弥)

奈良県立民俗博物館研究紀要 第26号

発行日 令和8（2026）年3月31日

発行 奈良県立民俗博物館

〒639-1058

奈良県大和郡山市矢田町545番地

電話 0743-53-3171

印刷 株式会社サカタ企画印刷

〒636-0351

奈良県磯城郡田原本町松本131-1

電話 0744-32-3200

奈良県立民俗博物館

令和8（2026）年3月31日 発行